

研究課題名：	肝門部領域胆管がんの実態調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器内科
研究責任者(職名)：	細川 貴範 (医長)
研究期間：	2021年3月23日～2021年12月31日
研究目的と意義：	肝門部領域胆管がんは、術前に減黄や門脈塞栓が必要になる症例も多く、画像診断から手術までに時間がかかる症例も少なくない。予後改善のために完全切除が望まれるが、手術待機期間に症状が進行し、完全切除率の低下や予後の悪化も予想されるが、その実態は明らかではないため、手術待機期間による影響を明らかにし、肝門部領域胆管がんの最適な治療法を明らかにする。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2012年1月から2021年12月31日までに当院において、画像診断で手術可能と判断した肝門部領域胆管がん患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等 ●研究方法 画像診断で手術可能と判断した肝門部領域胆管がん患者さんの手術所見、生命予後、病歴、検査結果等について後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：細川 貴範 (消化器内科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052 (代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>